

学びの充実に向けて(2)

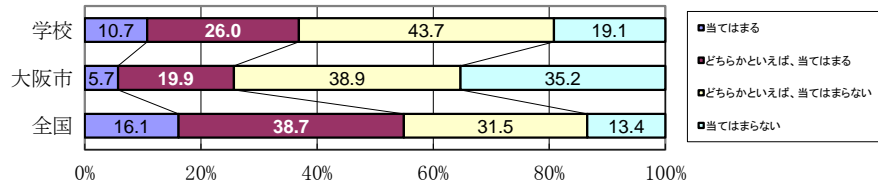
結果の概要

「『総合的な学習の時間』では自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」「1・2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」の「当てはまる・やや当てはまる」は、大阪市を上回っている。さまざまな機会に、タブレットPCを活用し、調べ学習をまとめて発表する機会がよくあった成果である。教員も調べ学習の中で、言語活動の充実を図るよう指導していた。

質問番号 質問事項

40

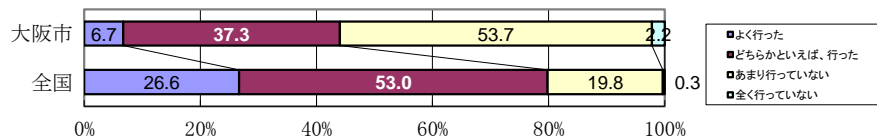
「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」



42【学校質問紙】

総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか

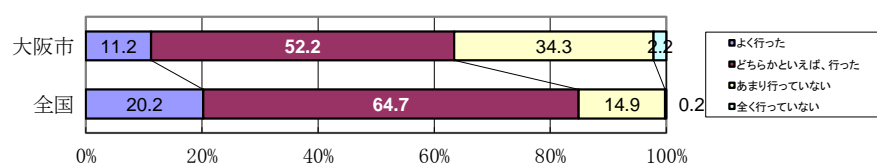
学校 「よく行った」を選択



30【学校質問紙】

各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか

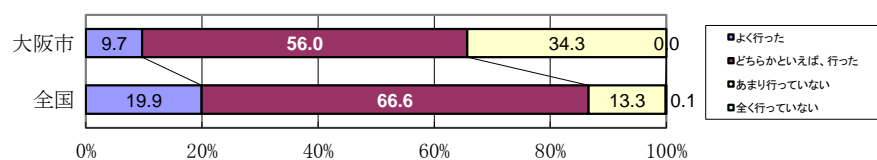
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



41【学校質問紙】

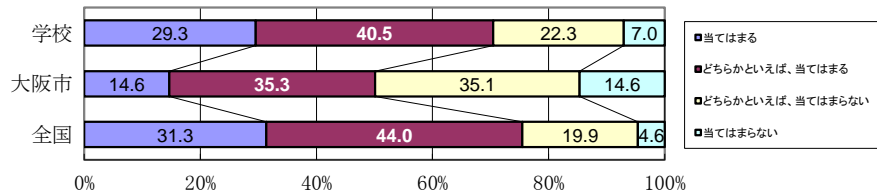
自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



43

1・2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



成果と課題

教員が指導のねらいを明確にして言語活動の充実を図り、調べ学習を進めた結果、生徒の中にも話し合う機会、自分で課題を立てて情報を集めて、調べたことを発表したと思う生徒が大阪市より多い結果となった。ICT機器の活用によるよりわかりやすい発表が、成果として表れている。しかし、総合的な時間での活用がまだ不十分のため、全国との「当てはまる」の差は大きい。

今後の取組

「総合的な活動」においてもさらに積極的に、調べ学習や調べたことを発表する機会を増やしていく。